

先進地に学ぶ

文教厚生常任委員会

日時 令和5年10月31日(火)～11月2日(木)



詳細はこちら

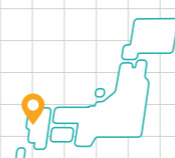
エコアくまもと(熊本県南関町)「エコアくまもとについて」

熊本県公共関係産業廃棄物管理型最終処分場「エコアくまもと」では、県の環境活動推進団体であるとともに、「環境を守り、地球にやさしい未来を創る」というビジョンを掲げて、様々な環境活動を展開しています。

また、高台に位置し、耐震性や耐風性を備えた施設であることから、非常時用の毛布や食糧を備蓄する防災拠点としての役割も担っています。



感想 地域住民に寄り添い、意見を尊重して運営する取り組みと、環境に対する意識の高さを感じました。



熊本県山鹿市「窓口の民間委託について」

平成27年10月から、民間活力を活かし、更なる市民サービスの向上と市の行政組織が抱える人員不足や業務負担の軽減を図るために、市民サービスセンターを運営する会社に市民課窓口業務を委託しています。

市民課窓口アンケートでは約98.6%の方が「満足」「やや満足」と回答しており、民間委託導入の目的である更なる市民サービスの向上は達成できていると考えられます。



感想 市民課窓口の民間委託に対する積極的な取り組みと、市民サービス向上への意識の高さを感じました。



福岡県久留米市「書かない窓口について」

とんこつラーメン発祥の地でもあります久留米市では、平成27年度マイナンバー制度導入を契機に異動受付等窓口支援システムが導入され、入力された情報をもとに、必要な手続きや担当窓口を案内できる機能を有しています。

申請書への記入負担を軽減する「書かない窓口」、入力時間の短縮や正確性を図り、「待たない窓口の実現」を図っております。



感想 「市民ひとりひとりの貴重な時間を無駄にさせない」との掛け声の元、市民ファーストを重視したDXの積極的な取り組みを感じました。

先進地に学ぶ

総務常任委員会

日時 令和5年11月8日(水)～10日(金)



詳細はこちら

香川県直島町「直島アートサイトにおける移住定住促進の取り組みについて」

ベネッセコーポレーションが直島アートサイトを開発し、人口約3,000人の小さな島は年間75万人を超える多くの観光客が訪れる町へと成長しました。単に直島というフィールドに現代アートを展開するだけでなく、「在るものを活かして、無いものをつくる」という合言葉のもと、島全体がよくなること、島民(住民)と、島の自然環境を第一に考え、その上で芸術との融合を志ざした姿となっています。



感想 もともとそこにあった島、島民のなかに超一流の現代アートと建築をおくことで、直島は魅力にあふれた唯一無二の特別な場所となっていました。



香川県観音寺市「ANA あきんどとの業務連携について」

令和4年5月ANAあきんど株式会社と業務連携協定を結び、「ONSEN・ガストロノミーウォーキング in 観音寺市」を実施。また、ふるさと納税で、特にリピーター獲得に有効な「定期便」に力を入れ、寄付者お一人おひとりに市長の直筆メッセージを添える心遣いも忘れません。



感想 露出を増やし、市としての魅力を印象づけること、知ってもらうことに力を注ぎ、関係交流人口の増加、ひいては移住にもつなげているのだと感じました。



愛媛県西予市「オフィス改革について」

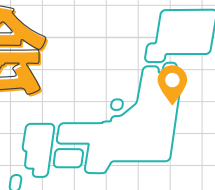
西予市では多様化する市民サービスに対応すべく、生産性向上のための環境整備として平成26年度よりオフィス改革を開始しました。そして職員の働きやすさの追求が結果的に市民に還元できたそうです。ハード面だけでなく、「意識改革」というソフト面にも改革のメスを入れたことが成功のカギであると思います。



感想 「意識改革」には終わりが無いので、今後も継続して行っていきたいとのことでした。今後の動向にも注目し、参考にしたいと思います。

建設経済常任委員会

日時 令和5年10月30日(月)～11月1日(水)



詳細はこちら

宮城県名取市 ^{なとり} 「^{ゆりあけ} 閉上かわまちづくり事業及び震災からの復興について」

国によるハード事業で堤防側帯、管理用通路、船着き場、多目的広場、階段護岸、親水広場が整備されました。市としては、(株)かわまちてらす閉上の立上げ支援、民間舟運事業者の公募運行開始に係る支援、まち側の側帯の散策路造成工事、各種案内看板設置、各種イベント実施に係る支援等が実施されています。



感想 氏家ゆうゆうパークや荒川水辺公園などの災害対策において参考になる事業でした。



福島県福島市 「道の駅ふくしまについて」

2022年4月27日にオープンしたばかりの全国でも最新の道の駅です。東北中央自動車道大笹生インターチェンジに隣接しアクセスが非常によいです。また、福島県産の木をふんだんに使った子どもの遊び場「ももRabiキッズパーク」、EVバイクのレンタルサービス、地元産フルーツが購入できる直売所を備えています。この道の駅は、道の駅うつのみやろまんちっく村でも有名な(株)ファーマーズフォレストが指定管理者として受託しています。



感想 道の駅の運営や周辺観光との連携、子どもの遊び場と道の駅本体と連動させる内容など、本市の道の駅きつれがわにはない取り組みで、大変に参考となりました。

福島県南相馬市

「^{おだか} 震災からの復興 小高交流センター、福島ロボットテストフィールドについて」

小高交流センターには国の復興財源が充てられています。室内運動場や子どものための遊戯室、会議室等も備え、クリスマスに向けたイルミネーションも準備されており、地域の皆様が楽しく集える場所を提供しています。

感想 震災とそれに伴う原発事故でバラバラになった地域コミュニティが徐々に再生してきている感じがしました。

